

2010年3月16日号 No.126

人口と世帯(3月1日現在)
■人口 211,011人(男105,352人・女105,659人)
■世帯数 79,444戸



2月10日から28日まで、「おひなさま展」がまゆドームで行われました。会場には、親王飾り・御殿飾り・段飾りの3種類のおひなさまが飾り付けられたほか、おひなさまの衣装を付けて記念撮影できるコーナーも設置。訪れた親子連れは、にぎやかなひな祭りを楽しんでいました。

市議会議員選挙
4月25日(日)
投票日

みんなで投票
大切な一票



主な内容

- 市役所の事務室の配置が変わります……………p.2~3
- 平成23年成人式開催方法が決定……………p.5
- 市役所の機構改正……………p.4
- 図書館の魅力を紹介します……………p.6~7

魅力ある高校生にインタビュー No.022

明日へ ジャンプ

みんなの笑顔が好きだから あこがれの介護福祉士へ

県立伊勢崎興陽高等学校 2年 葛西 緑 さん



伊勢崎興陽高等学校で福祉を学ぶ葛西緑さんは、在学中に介護福祉士の資格取得を目指しています。

子どものころ、彼女の祖母が老人ホームに入所していて、祖母の介護をする職員の仕事ぶりにあこがれて、介護の仕事に興味を持ったそうです。

「人見知りだった祖母が、その人のおかげで施設に受け込み、友達ができて楽しそうに笑っていたんです。仕事も丁寧でてきぱきしていて、とてもすごい人でした」

介護の勉強がしたくて興陽高校に進学した彼女。実は受験前なのに勉強に身が入らない時期がありました。

「心配した先生が家に電話をしてくれたのですが、母が『本人の意思が固いので大丈夫です』って私を信じて言ってくれました」

その言葉を聞き、頑張りなればと思ひ、試験科目の作文の勉強を始めました。

「過去の出題例なども参考に、本気になって取り組みました」

もともと作文は好きだったという葛西さん。高校生になってから数々の作文のコンクールに入選しています。



プロフィール
かさい・みどり
ボランティアで施設の掃除や利用者へのハンドマッサージをしている。尊敬する人はお母さん。好きな言葉は大好きなグループの曲名でもある「きつと大丈夫」。卒業後は介護福祉士として施設で働くことを目指している。

「作文もそうですが、2年生のときに福祉系列のコースに進んでから、以前より勉強を頑張っています。中学生のときの先生に、成績表を見せたいくらいです」

昨年の夏には介護施設で10日間の実習を体験。実際の現場を経験して、介護の仕事に就きたいと再確認しました。

「最初は思っていたより大変でしたが、利用者の皆さんが名前を覚えてくれたり、笑ってくれたりするだけでうれしくなりました」

夢に向かって努力している葛西さん。お年寄りの笑顔を励みに歩み続けます。

卒業シーズンを迎え、市内の各学校の卒業生が、夢や希望を胸に巣立っていきます。卒業式の中で印象深いのが、みんなで合唱する「卒業ソング」。定番の「仰げば尊し」を始め、卒業・旅立ちなどをテーマとするさまざまな名曲が歌われ、学生生活の思い出と一緒に心に刻まれてきました。

皆さんの「卒業ソング」は何ですか。さわやかな春風に乗せて、ちよっと口ずさんでみませんか。(と)

編集後記

伊勢崎オート 売上金は機械工業の振興・社会福祉の増進などに広く役立てられています

第31回伊勢崎オート出版協会杯争奪戦

4/3 ● 4 ● 5

【場外発売】船橋市営第1回1節(船橋)

4/6 ● 7 ● 8 ● 9

キラオ